

異色グルメ漫画映画化

極道めし



来年公開 受刑者が メシ競う

受刑者が食の思い出を語る異色グルメ漫画「極道めし」が映画化され、来年公開されること30日、分かった。原作者の土山しげる氏（協力・大西祥平氏）が、06年6月に雑誌「漫画アクション」で開始した連載で、極道たちが人が、味わってきた、うまいもの自慢で競い合うストーリー

りだ。料理人が主人公ではないのはグルメ漫画では珍しいが、その背景にある人間ドラマが感動を呼び、宝島社主催の08年「この漫画がすごい」オトコ編で7位に入った。主演永岡佑（たすく）28）や勝村政信（47）らが懲役3〜6年の受刑者役を務め、正月のおせち料理を巡り、メシ話を展開する。母親や恋人が作ってくれたホットケーキやラーメン、家族で行った海辺のバーベキューなど、思い出入れたっぷりに語っている。04

年「月とチエリ」以来の主演映画になる永岡は「5人の心に残っているものが、観客の皆さんに伝わればうれし。刑務所の中のご飯は、一般的に知られていないので、それを知られるのも面白い」と見どころを話した。08年フタがいた教室や10年「猿ロック」などで知られる

前田哲監督が撮影し、12月中旬にクランクアップ。「極道に行ってしまった人々にも、悲喜もごもものドラマがある。その一片が、食にまつわるエピソード。面白いけど、どこか悲しいという人間の性さがをそれぞれ入れました。共演は落合モトキ、きたろう、磨赤兒、木村文乃、田中要次ら。今日31日は大みそか。映画の舞台設定も大みそかで、日本のどこかの刑務所でもうまいもの自慢が行われているかもしれない。

◆極道めし 大みそかの雪の夜、刑務所204房の5人は、B級グルメにまつわる思い出を熱く語る。「おいしいそう」とツバをのみ込

み、ノドをゴクリと鳴らした人数が最も多い人が勝ち。全員からおせち料理の中の好きな1品をもらえるというゲームに熱中するが…各エピソードに合わせ、食事シーンが連続。永岡は「満腹な状態から、さらに食べるのがつらかった」と撮影を振り返った。



映画「極道めし」の受刑者役で共演した、左からきたろう、落合モトキ、磨赤兒、勝村政信、永岡佑 ⑤映画「極道めし」の原作漫画の表紙（原作・土山しげる、協力・大西祥平、双葉社刊）